

## 留学生の指導可能な教員一覧表

このリストは2016年4月の情報に基づき作成した留学生の受入可能な教員一覧表です。各教員の担当科目や連絡先等の詳細は、本学ホームページの「研究者総覧」<http://er-web.jmk.ynu.ac.jp/>をご参照ください。研究者総覧にメールアドレスの記載のない場合には、各大学院へメールでお問合せください。

## 【環境情報学府】

<http://www.eis.ynu.ac.jp/index.html>

Contact: [kankyojoho@ynu.ac.jp](mailto:kankyojoho@ynu.ac.jp)

## 環境生命学専攻（地球環境コース）

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力(入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得)を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	石川 正弘	ISHIKAWA Masahiro	構造地質学、高圧地震波速度測定、固体地球ダイナミクス、テクトニクス、地圏環境科学	日本語 又は 英語	○	○	○	
教授	菊池 知彦	KIKUCHI Tomohiko	生物海洋学、海洋プランクトン学、海洋生物多様性学、沿岸環境学、動物系統分類学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	森 章	MORI Akira	森林生態学、生態系管理学、景観生態学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	中森 泰三	NAKAMORI Taizo	土壌動物と微生物の相互作用、菌類の被食防衛、土壌生態毒性学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	酒井 暁子	SAKAI Akiko	環境保全論、植物群集の構造解析および生育立地の分析、植物の生活史戦略、植物地理学、植物生態学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	佐々木 雄大	SASAKI Takehiro	生物群集と景観の生態学、草原生態系、農業生態系、都市生態系、生物多様性保全、生物多様性応用技術	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	下出 信次	SHIMODE Shinji	海洋生物の生活史戦略、海産カイアシ類、メイオベントス、生物海洋学、浮遊生物学、底生生物学、沿岸環境学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	和仁 良二	WANI Ryoji	古生物学、古生態学、地質学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	山本 伸次	YAMAMOTO Shinji	地質学、岩石・鉱物学、固体地球化学、初期地球進化、地球史、地球システム変動	日本語 又は 英語	○	○	○	

## 環境生命学専攻（生命環境コース）

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力(入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得)を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	雨宮 隆	AMEMIYA Takashi	非線形科学、細胞間情報伝達、代謝振動反応、複雑系	日本語 又は 英語	○	○	○	
教授	平塚 和之	HIRATSUKA Kazuyuki	植物の遺伝子発現制御、生殖細胞形成、DNA修復と遺伝子組換え、植物病理学、植物遺伝子工学の環境科学への応用	日本語 又は 英語	○	○	○	
教授	松本 真哉	MATSUMOTO Shinya	機能性色素化学、分子性結晶の化学	日本語 又は 英語	○	○	○	
教授	大谷 裕之	OHTANI Hiroyuki	超分子化学、機能性分子化学、構造有機化学、有機合成化学、ホスト-ゲスト化学、環境分析化学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	本田 清	HONDA Kiyoshi	生命システム化学、有機合成化学、生物活性化合物の合成、機能性有機化合物の合成、ビタミン・ホルモン、選択的合成反応、グリーンケミストリー	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	中村 達夫	NAKAMURA Tatsuo	植物代謝生物学、高栄養植物の開発、植物-環境相互作用、生化学、分子生物学	日本語 又は 英語	○	○	○	
准教授	尾形 信一	OGATA Shinichi	遺伝子工学、植物分子遺伝学、植物細胞工学、植物染色体工学、減数分裂	日本語 又は 英語	○	○	○	

## 環境システム学専攻 (マテリアルシステムコース)

博士課程前期を希望する場合、日本語能力試験N2程度以上の日本語能力を有することを原則とするが、詳細については指導教員と十分に相談のこと。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	跡部 真人	ATOBE Mahito	有機電気化学、電解合成、電解重合	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	鈴木 淳史	SUZUKI Atsushi	材料科学・工学、ハイドロゲルの網目構造と機能制御、ソフトマテリアルの力学物性(摩擦・粘着・剥離)	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	多々見 純一	TATAMI Junichi	セラミックスの微構造と力学特性、先進セラミックスプロセス、線形破壊力学、破壊統計論、評価設計手法	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	荒牧 賢治	ARAMAKI Kenji	コロイド界面化学、分子集合系ソフトマター	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	伊藤 暁彦	ITO Akihiko	無機材料合成、化学気相析出法、物理気相蒸着法、レーザープロセス	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	田中 良巳	TANAKA Yoshimi	バイオメカニクス、ソフトマターに関する物理	日本語 又は英語	○	○	○	
講師	飯島 志行	IJIMA Motoyuki	粉体材料プロセス、微粒子・ナノ粒子表面改質、コロイド・界面化学、複合材料機能制御	日本語 又は英語	○	○	○	

## 環境システム学専攻 (システムデザインコース)

博士課程前期を希望する場合、日本語能力試験N2程度以上の日本語能力を有することを原則とするが、詳細については指導教員と十分に相談のこと。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	森下 信	MORISHITA Shin	振動制御、ニューラルネットワーク、インテリジェントシステム、機能性流体、セルオートマトン、複雑系、バイオメカニクス	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	中野 健	NAKANO Ken	トライボロジーと機械振動音響学の境界領域(界面力学現象・摩擦振動現象・音響波動現象・触覚情報)	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	上野 誠也	UENO Seiya	最適制御理論、数値最適化、航空機の最適飛行経路、惑星探査機の軌道設計、人工衛星の姿勢制御、宇宙ロボットの自律制御	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	山田 貴博	YAMADA Takahiro	計算力学、有限要素法、数値解析、固体力学、流体力学	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	樋口 丈浩	HIGUCHI Takehiro	宇宙構造物の姿勢制御、航空機の誘導制御、最適制御、航空宇宙システム設計	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	松井 和己	MATSUI Kazumi	マルチスケール・マルチフィジックス計算力学、マルチスケール解析による材料特性の評価、計算力学手法による構造物の最適設計	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	村井 基彦	MURAI Motohiko	海洋工学、大型海洋構造物設計、浮体式構造物設計、海洋空間利用システム、流体力学、海洋環境工学	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	白石 俊彦	SHIRAIISHI Toshihiko	振動制御、インテリジェント構造、機能性材料、複雑系、ニューラルネットワーク、バイオエンジニアリング、細胞の力学	日本語 又は英語	○	○	○	

## 情報メディア環境学専攻 (情報メディア学コース)

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力(入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得)を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	松本 勉	MATSUMOTO Tsutomu	情報・物理セキュリティ、暗号学、生体認証、人工物メトリクス、耐タンパー性、システム・ネットワークセキュリティ	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	森 辰則	MORI Tatsunori	デジタルドキュメント処理、情報検索、情報抽出、自然言語処理、自然言語インタフェース	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	長尾 智晴	NAGAO Tomoharu	知能情報処理、画像処理、進化計算法、ビジョン、神経回路網、進化経済学、ロボティクス、医用工学	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	岡嶋 克典	OKAJIMA Katsunori	視覚・画像情報処理、認知脳科学、五感工学、バーチャルリアリティ、福祉システム工学	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	四方 順司	SHIKATA Junji	暗号理論、情報理論、理論計算機科学、計算数論、数理アルゴリズム	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	田村 直良	TAMURA Naoyoshi	自然言語処理、知識情報処理	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	藤井 友比呂	FUJII Tomohiro	理論言語学、統語理論、言語獲得	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	マーティン ロジャー	MARTIN, Roger	理論言語学	英語 又は日本語	○	○	○	
准教授	富井 尚志	TOMII Takashi	データ工学、マルチメディアデータベース、データベース高度応用	日本語 及び英語	○	○	○	
准教授	吉岡 克成	YOSHIOKA Katsunari	情報システムセキュリティ、ネットワークセキュリティ	日本語 又は英語	○	○	○	
講師	白川 真一	SHIRAKAWA Shinichi	知能情報処理、人工知能、進化計算、機械学習、画像処理・認識	日本語 又は英語	○	○	○	

## 情報メディア環境学専攻(環境数理解析学コース)

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力(入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得)を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	有光 直子	ARIMITSU Naoko	物理数値解析、乱流理論、複雑系	日本語 又は英語			○	
教授	中本 敦浩	NAKAMOTO Atsuhiko	離散数学、位相幾何学的グラフ理論、計算幾何	日本語 及び英語	○	○	○	
教授	根上 生也	NEGAMI Seiya	位相幾何学的グラフ理論、低次元トポロジー、離散数学	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	西村 尚史	NISHIMURA Takashi	特異点理論、分岐理論	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	野間 淳	NOMA Atsushi	代数幾何学、代数学	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	額田 順二	NUKATA Junji	教育等の情報化	日本語		○	○	
准教授	原下 秀士	HARASHITA Shushi	代数学、代数幾何学、数論幾何学	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	白崎 実	SHIRAZAKI Minoru	計算流体力学、計算力学	日本語 又は英語	○	○	○	
講師	牛越 恵理佳	USHIKOSHI Erika	偏微分方程式論	日本語 又は英語	○	○	○	

## 環境イノベーションマネジメント専攻

For Master's Program, students are required to have Japanese language skills higher than or equivalent to JLPT N2 Level since most of the courses are conducted in Japanese. 博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得が相当程度必要であり、日本語能力(日本語能力試験N2程度以上)を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	安藤 孝敏	ANDO Takatoshi	社会老年学、高齢者心理学、人と動物の関係学	日本語	○	○	○	
教授	本藤 祐樹	HONDO Hiroki	技術評価、ライフサイクルアセスメント、システム分析	日本語	○	○	○	
教授	志田 基与師	SHIDA Kiyoshi	理論社会学、数理社会学、社会的選択理論、近代日本婚姻儀礼史	日本語	○	○	○	
教授	周佐 喜和	SHUSA Yoshikazu	企業のグローバリゼーション、技術移転論	日本語 及び英語	○	○	○	
教授	竹田 陽子	TAKEDA Yoko	Impact of Information Technology on Organization and Corporate Strategy	日本語 及び英語	○	○	○	
教授	安本 雅典	YASUMOTO Masanori	製品・技術開発論、組織論、イノベーション・マネジメント(グローバル化するイノベーション・エコシステムのマネジメント)	日本語 及び英語	○	○	○	
准教授	長谷部 英一	HASEBE Eiichi	中国科学史、中国医学、中国天文学	日本語	○	○	○	
准教授	鳴海 大典	NARUMI Daisuke	都市エネルギー・熱代謝系、持続可能な都市・建築設計、エネルギーイノベーション、先端技術の社会適応マネジメント、ヒートアイランド	日本語 及び英語	○	○	○	

## 環境リスクマネジメント専攻（生命環境マネジメントコース）

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力（入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得）を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	金子 信博	KANEKO Nobuhiro	土壌生態系、土壌生物群集、養分循環、生物多様性、土壌生態毒性学	英語 又は日本語	○	○	○	
教授	小池 文人	KOIKE Fumito	群集予測、景観生態学、外来生物リスク管理	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	益永 茂樹	MASUNAGA Shigeki	環境汚染物質の測定・挙動解析・シミュレーション、環境鑑識学(環境汚染原因解析)、化学物質のリスク評価と管理	日本語 又は英語			○	
教授	松田 裕之	MATSUDA Hiroyuki	環境生態学、環境リスク管理、進化生態学、野生生物管理、漁業管理	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	中井 里史	NAKAI Satoshi	環境疫学、環境健康リスク評価、曝露評価、大気環境、室内環境	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	及川 敬貴	OIKAWA Hiroki	環境法、行政法	英語 又は日本語	○	○		
教授	大矢 勝	OYA Masaru	洗剤、洗浄力、水生生物毒性、生活者情報、環境情報	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	亀屋 隆志	KAMEYA Takashi	環境安全工学、化学物質管理、製品の環境安全	日本語 又は英語	○	○	○	

## 環境リスクマネジメント専攻（セイフティマネジメントコース）

博士課程前期を希望する場合、日本語で開講される科目履修による単位取得がいくつか必要なため、日本語能力（入学後6か月～1年以内に日本語能力試験N2程度を取得）を必要とする。

職名	氏名	Name in Roman Letters	専門分野	語学の条件	受入大学院生の種類			備考
					博士	修士	研究生	
教授	三宅 淳巳	MIYAKE Atsumi	安全工学、爆発現象、化学物質のリスク解析、技術システムのリスク管理	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	野口 和彦	NOGUCHI Kazuhiko	リスクマネジメントシステム、危機管理、安全工学、リスク対応型社会システム構築方法	日本語 又は英語	○	○	○	
教授	大谷 英雄	OHTANI Hideo	化学工場の安全管理、火災現象、化学物質の危険性評価	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	笠井 尚哉	KASAI Naoya	非破壊検査、有限要素シミュレーション、リスクベース点検、産業事故の統計解析	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	小林 剛	KOBAYASHI Takeshi	環境安全工学、化学物質のリスク情報、土壌汚染や大気汚染	日本語 及び英語	○	○	○	
准教授	熊崎 美枝子	KUMASAKI Mieko	安全工学、暴走反応の制御、技術システムのリスクマネジメント、安全文化	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	岡 泰資	OKA Yasushi	火災現象とモデリング、火災感知、消防隊員の疲労	日本語 及び英語	○	○		
准教授	松宮 正彦	MATSUMIYA Masahiko	レアアースリサイクル、電気化学プロセス	日本語 又は英語	○	○	○	
准教授	澁谷 忠弘	SHIBUTANI Tadahiro	機械システムの信頼性、予測健全性管理、故障物理、材料強度	日本語 又は英語	○	○	○	